

## 1 . 調査の目的

宇城市在住の 20 歳以上の市民を対象に、男女共同参画に対する意識・関心、家庭や職場などでの男女共同参画の状況などを定量的に把握し、今後の施策推進のための基礎資料とすることを目的に実施した。

## 2 . 調査項目

- ( 1 ) 回答者について
- ( 2 ) 男女平等について
- ( 3 ) 結婚観について
- ( 4 ) 家庭生活全般に
- ( 5 ) 子育て・教育について
- ( 6 ) 女性の社会参画について
- ( 7 ) 仕事、家庭、地域活動等の両立について
- ( 8 ) 配偶者などからの暴力について
- ( 9 ) 男女間のセクハラについて
- ( 10 ) 人権の尊重について
- ( 11 ) メディアにおける性・暴力表現に対する意識について
- ( 12 ) 男女共同参画に関するご意見やご要望

## 3 . 調査設計

- ( 1 ) 調査対象地域  
宇城市全域
- ( 2 ) 調査対象  
宇城市に居住する 20 歳以上の男女より 3,000 人を、地区、年齢層ごとに層化二段階無作為抽出
- ( 3 ) 調査方法  
郵送配布 - 郵送回収
- ( 4 ) 調査期間  
平成 22 年 7 月 20 日 ( 火 ) ~ 平成 22 年 8 月 4 日 ( 水 )

## 4 . 回収結果

回収票 1,132 件 ( 有効回収率 37.7% )

## 5 . 報告書の見方

- ( 1 ) 図表中の回答者数は「n」で表している。
- ( 2 ) 回答は、回答者数を基数とした百分率 (%) で表し、小数第二位を四捨五入した。このため百分率の合計が 100% にならないことがある。
- ( 3 ) 2 つ以上の複数回答ができる設問では、回答率が 100% を超えることがある。
- ( 4 ) 集計の選択肢表現は、コンピュータ入力の都合上、調査票の回答選択肢を短縮して表記している場合がある。
- ( 5 ) 単純集計・クロス集計の図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をすることが難しいので、回答の傾向をみる程度になる。また、回答者数が 0 (ゼロ) 人の設問に関しては、図表は掲載を省略した。

なお本報告書では、国や熊本県の調査結果と比較可能な項目の一部についてその内容を掲載し、今回本市の実施した調査結果との比較を行っている。

比較に使用した調査は以下のとおり。

国：「男女共同参画社会に関する世論調査（平成21年度：内閣府）

熊本県：「男女共同参画に関する県民意識調査」（平成21年度：熊本県）

また、前回（平成17年）実施した「宇城市男女共同参画市民意識調査」についても、必要に応じて比較を行っている。